

迎え、職員の問題に対する意識の高まりと、これまでのノウハウの蓄積により、平成21年度からは市独自の環境マネジメントシステムを市民とともに構築し、名称をTESS（Teshima Ecology System）に改め、実施しています。

より安全に、より快適に！

地域振興と経済の活性化を図る上で、欠く事ができないのが、幹線道路と鉄道網などの社会資本です。長年工事が停滞していた国道161号のバイパス工事も関係者の懸命な要望活動が実り、高島バイパスでは平成19年度から新旭工区と高島工区が^{（仮称）}桧音高く再開され、平成21年5月1日には新旭工区が開通、高島工区も平成22年春の完成に向け、現在工事が進められています。また、JR湖西線は、念願であった安曇川駅のエレベーター設置工事が平成21年3月に完了するとともに、改善要望の強かった「強風時の運休対策」も、JRにより防風柵が設置されるなど大幅な改善が図られました。

地域資源を

発掘、活用、連携、循環

奥山から琵琶湖に注ぐ大小の河川、そしてその流域の里山田園環境を一体的に捉え、環境に配慮した農林水産業の振興を図るとともに、財政的に苦しい中ながら、地域産業経済の振興や生業の再生と創出に向けた取り組みを進めました。なかでも県版経済特区制度を活用した「びわ湖・里山観光振興特区計画」では、「中央分水嶺高島トレイルの整備」など地域資源の発掘、活用、連携、循環による生業づくり、雇用の促進を図ってきました。また、平成20年3月28日、「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」が全国5番目の重要文化的景観に選定されたことは、高島市の豊かな文化遺産の存在を多くの人に伝えることにもなりました。

新たな取り組みの可能性に光

食の安全性に対するニーズは年々高まっており、「安心・安全」がおいしさの大切なキーワードとして重要視されています。そのような中、平成19年度から高島の農業の担い手の方などが挑んでいる生き物指標に

よる安心・安全で、環境ごだわりのレベルも高い「たかしま生きもの田んぼ」の取り組みが、環境保全型農業のモデルとして全国から注目を集めています。現在は、高島の新たなブランドとして発展させるための取り組みが進められています。

高島市での暮らしを応援

本格的な人口減少時代を迎え、全国水準より減少傾向にあり、少子高齢化が進む高島市にとって、何より課題となっているのは「若者の定住促進」です。地域戦略としての「就労・雇用の場づくり」、「住宅の確保支援」と「安心して子育てができる福祉・教育環境の整備」を進める必要があります。こうした中、平成18年2月、高島市に社会人野球クラブチーム「OBC高島」が誕生し、たくさんの方々が高島を目指してやってきました。野球を通して夢を追い続ける若者たちの姿は、経済が低迷し沈滞感の漂う市内に明るい希望の火をともし、多くの市民が勇気付けられました。

進む、病院整備事業

安心して日々の暮らしが送れるための重要な要件である医療の充実については、公立高島総合病院を地域中核病院として維持するため、病院関係者の懸命の努力と市民の皆さんのご理解のもと、徐々に経営改善が図られてきています。また、懸案の病院建設は、今年度新病院の規模が固まり、平成22年度と23年度の2年間で病院本体の建築工事を行い、平成24年春に高島地域の災害拠点病院としての機能を持たせた中核病院として開院する予定です。

こうして高島市の5年間を振り返りましたが、ご紹介できなかったものの中にも重要で先進的な取り組みがあります。

いすれにしても、高島市の取り組みははじまったばかりです。今後も、一つ一つの取り組みを積み重ねながら、市民の皆さんと高島市を応援くださる多くの皆さんのご支援とご協力を得て、市民と行政の連携・協働による持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。



ホンジュラスの子どもたちに音楽を創造する楽しさを！

平成20年6月、青年海外協力隊として中米のホンジュラス共和国で、音楽の普及活動をされている高島市出身の清水美里さんから、市役所に1通のメールが届きました。

それは「音楽の普及活動をするにも、ホンジュラスでは楽器が劣悪なものしかなく、また、子どもたちの数に見合うだけの数がない。」という楽器不足を訴える内容でした。

そこで、『ホンジュラスの子どもたちに音楽を創造する楽しさを！』という呼びかけで、家庭で眠っているリコーダーやピアノ、古くなったり、修理が必要となったりして使われなくなった楽器などを提供いただき、ホンジュラスの子どもたちへ



市民の皆さんから提供された楽器



届けました。

この程、ホンジュラス サンタロサデコパン市長から、感謝状とともに、子どもたちが楽しく音楽の授業を受けている写真が届きました。

楽器の提供などにご協力いただいた皆さん、また、壊れた楽器を補修いただきました（株）トリイ様、誠にありがとうございました。

図政策調整課

05(05)8114

サンタロサデコパン市長からの感謝状

（訳）

ホンジュラスから、心からの敬意と職務のご健闘をお祈り申し上げます。

この度、ホンジュラス サンタロサデコパン市への、貴重な楽器類の寄贈に対して、多大な感謝の意を表します。これらの楽器は、サンタロサデコパン市文化会館（ホンジュラス政府文化芸術スポーツ省管轄機関）に寄贈され、当文化会館で活動している青少年団体吹奏楽バンド「ドレミ」の活動等に大きく寄与することと確信しております。吹奏楽バンド「ドレミ」は当市からも助成を行っており、



滋賀県高島市からの日本人ボランティア（清水美里さん）の支援を得て、今日意欲的に活動しております。約1年半の月日をかけてようやく活性化し、現在は多くの児童が音楽に触れ、音楽に共感し学ぶ機会を得ています。あわせて、国際協力機構青年海外協力隊ボランティアによる日本からの多大な援助に厚く御礼申し上げます。

ホンジュラス サンタロサデコパン市長
フアン・マヌエル・ブエソ・フィアジョス

